

立体本の翻訳文書

1. Celia(セリア) 立体的な本ってなんだろう？
 - (1) 立体的な本とは、視覚障害の子供達のために開発されました。色とりどりのイラストで構成され、触ることのできる写真をその内容としていません。補足的な文章が、点字で、又は大きなサイズで、もしくは通常のサイズで現れます。また立体本は、音響効果や、ナレーション、歌などと共にレコーディングされています。著者は物語をオリジナルで作成したり、もしくはよくある妖精の物語や、子守歌、詩歌からストーリーを編集します。立体本のイラストは、個人が自分のストーリーを見つけるのにも役に立ちます。
 - (2) 子供達はそんな立体本を読むにあたり、妖精物語の冒険へと旅立ち、もしくは宇宙旅行を試み、納屋の動物たちや歯医者装置の親しみを覚えます。触ることによって、別々の素材や本物のような手触りで出来たその小さな物体が本物の物事を想起させます。衣類、木材、小石、粘土、毛皮、種や香辛料が素材として使われます。触ることにより、それらの素材はカサカサ・ガラガラ・キューといった音を出します。立体本のポケットやポーチには様々なモノが入っており、子供達は発見のよろこびを経験することができます。
2. 立体本の目的
 - (1) 立体本は、様々な方法により子供の発達を促します。妖精物語や絵本は、イマジネーション、創造性そして言語の発達に欠かせません。立体本は、視覚障害のある子供達に、周りの世界を概念化させるための手助けとなります。現実世界において触ることができない物体ですら、立体本を使用することにより表現することができるようになります。
 - (2) 立体本を介して、親子は色々な物体や現象について議論することができます。立体的な物体や写真を使用して、様々な概念、例えば「反対の」概念などを説明することができます。コントラストが鮮やかに効いているおかげで、子供達は目下使用できる視覚を駆使し、手と視覚の調和を繰り返し練習できます。ボタンやジッパーをいじったり、結び目を作ったりすることは運動神経を活発にします。
 - (3) 本の中で使用されている膨らんだ紙や、プラスチックの浮き彫り写真や

地図を使うことは、立体本に親しんだ子供ならより簡単にできるはずで
す。立体本を読むことは点字を学ぶ準備としても役に立ちます。

3. 立体本を作ること

- (1) セリア図書館は立体本の使用・知識において主導的な立場の図書館の
ひとつとなっています。フィンランドの立体本は様々なコンペやイベン
トにおいて一定の評価を得てきました。
- (2) 1984 年にハーメリンナのウィッターホフ工芸デザインスクールから、初
めての立体本がセリアに寄付されました。立体本は芸術や手技の生徒や、
手工芸に興味を持つ人々により作られています。立体本の作成はとても
興味深く、実りのある作業であり、興味を抱いた人へ引き継いでいくこ
とができます。立体本の作成方法はセリアに保持されています。その内
容および体裁は子供達やその親御さんたちのフィードバックを元にし
て発展し続けています。

4. 立体本を借りるには

- (1) セリアの立体本のコレクションは 500 冊を越えます。年齢により別々の
本が用意されおり、小さくてシンプルな赤ちゃん用の本から、就学前の
お子様用に妖精物語まであります。
- (2) 就学前の視覚障害を負ったお子様が頻繁に利用していますが、発達障害
のある子供にも立体本は向いています。立体本は借りることができ、郵
送により自宅へ、学校へ、デイケアセンターやその他類似施設へも発送
されます。一冊ないし二冊の本を一度に借りることができます。立体本
の貸与に費用はかかりません。

5. 以下セリアの情報

以上